

# 新聞切拔

朝鮮關係

LL

小作問已  
小作爭議

昭和三年  
昭和四年  
昭和五年

Y  
43

# 暴の一例

この暴戾ブリを見よ

郡守會議席上で錦山郡守高唱

當局の對策如何

北 25  
金 6

近頃本道地方農村の地主  
小作人に對する搾取手段は  
實に巧妙を極めこの邊へ  
き一部地主の貪慾盡くた所  
な羊頭狗肉策が地方農村  
の疲弊を招じし層々事夥  
しいものである。錦山郡守  
が二十四日の郡守會議席上  
に於て力説し第一例として  
最も注目すべき事件である  
則ち錦山郡守の説に依れば  
近來各地主が小作人に對  
して頻りに金肥の施用を  
奨励する。或る場合殆ど  
と壓迫的に其使用を命ず  
る事もある。これが結果  
は作物はよく出来。併  
しながら作物がよく出来  
たからして小作人如何  
もなぬ。何故なれば地  
主は種々の名目の下に小  
作料を引上げざるを得  
る。則ち地主は自己の利  
益を希ふ爲め小作人に

金肥を買はせて己一人の  
得々と腹を肥して屬るど  
云ふ様な結果になつて小  
作人は色々計算をして見  
ると除く所は何にもない  
と云ふ勘定である。これ  
では小作人が立つて行か  
ぬ。だから小作人は地主  
の斯ふしゝ手段に對して  
は全く反對の意見を持つ  
て居る當局としてもこの  
事實ある事を承知して貰  
ひたい(要旨)  
云ふ様な状態で小作人の  
窮狀は全く同情堪へない  
ものがある尙秋の収納の場  
合に地主の慣用手段中には  
必ずしも公明正大なるもの  
ばかりはない。小作人  
や勞資の問題に神經を失  
す當局は反省一番斯ふ惡地  
主の慣用不當手段に對して  
相當の考慮を拂ふ必要があ  
る

# 苦衷を披瀝して

## 地主各位に告ぐ

(八)

本府の小作慣行改善案を拜讀して

慶尚南道參與官

李

範

益

### 三、小作人をして自立の見込を立たしむること

現在に於ける小作人の收支計算に依れば、彼等は幾百年を経過するも、農業に依り自立し得る程の蓄積をなすに足らず、小作人として貧窮の連鎖を脱する能はざる状態に在り、昔の思想に對する

せられたる時代に在りては之れに對する見込みは、彼の歐洲大戰後一般の思想は世界を通じて一變し、永久自立又は向上の見込立たざる者は決して現状に甘んぜざるのみならず、益々自己の産業上の立場、職能を有利ならしめ、生活向上の保障を向上と見做し、あらゆる努力を爲し、ついに我朝鮮に於ける小作人も此の思想に浸潤せられ、大正九年頃より小作人争議なるもの各

### 小作人争議

なるもの各

處に於て、騰出し出し、同十一年中には二十四倍を生じ、翌十二年には一躍して百七十六倍に激増し、十三年に百六十四倍、十四年には二百九十四倍に増加し、十五年には若干減じて百九十八倍となり、昨昭和二年の統計は未だ明かならざるも、南鮮地方には各所相繼ぎ激なる争議を惹起し、殊に本道の密陽郡國農治問題の如き最も著しき一例にして、今後教育の普及に伴ひ小作人

識なるもの漸次増加の傾向を免れざるべく、今に之が對策を講じ、未然に防止するは最も賢明の策なりとす、労働者、資本家の協調問題は、今や一國の問題にあらず、國際間の一大問題と爲りて世

界各國の政治家學者等は、何れも之れが解決に就き研究、論議されつつあり、然しなから我朝鮮の小作問題は、世間の所謂労働問題の主流として、労働者其の者のみの保護、救済又は向上を目的とするものとは其の趣きを異にし、上述の如く地主小作人共に利益せしめ、從つて社會の健全と國家の隆昌とを計らんとするものなるを思はざるべからず、故に地主たるもの克く此の職を理し、自ら進んで彼の小作人をして賃金と地位とを向上し、他日自立し得るの曙光と信念を與へざるべからず、之れ地主の自衛、又は自利上必要なるのみならず、人類の

### 共存共榮

を理想とする

る世界的原則を遵守し、順應する所になり、さりて徒に小作料を輕減し、又は金品を給與せよとの意味にあらず、地主は小作人を指導し、鞭撻して十分勤勞せしめ、其の勤勞の結果に依り漸次其の經濟を向上發展せしめ、他日自立即ち自作農たらしむる方法を計畫し、實行せしめば足るなり、凡そ農業は彼の商工業と異り、自作農を以て理想とす、若し土地が少數者に兼併せられ、國民多數が小作農たることは健全なる社會、國家を形成する能はざるのみならず、經濟自給の發達を阻害し

### 國家人民

の不和

# 苦衷を披瀝して

## 地主各位に告ぐ

(九)

本府の小作慣行改善案を拜讀して  
慶尙南道參與官 李 範 益

これに反しデンマーク及大戦前の  
獨逸が産業上理想的國家として國  
民の思想が剛健實質なるは自作農  
多きが爲なり、故に農業を以て立

國の基礎とする國家は何れも自作農の創定に苦心努力せざるものな  
く、内地には大正十五年五月時  
政府は自作農創設維持補助規則な  
るものを公布し規定の條件を具備  
したるものにして自作土地を購入  
せんとする者及主務官廳に於て  
當と認むる

對して低利資金及補助を交付し  
つあり、現内閣は更に大規模の自  
作農創定案を計畫し毎年多額の低  
利資金を長期融通せしめんとし目  
下之が財源及方法に關し審議中な  
りと聞く、翻つて我朝鮮に於ける  
農業者の糧食及其の移動趨勢を見  
るに

### 自作土地の維持者に

年次	農家總戸數	地主	農家百戸に對する歩合	自作	自作兼小作	小作
大正五年	二、四二、一五五	二、二	二〇・一	四〇・六	三六・三	二三・一
同六年	二、四二、一七五	二、二	二〇・一	四〇・六	三六・三	二三・一
同七年	二、四二、一八五	二、二	二〇・一	四〇・六	三六・三	二三・一
同八年	二、四二、一九五	二、二	二〇・一	四〇・六	三六・三	二三・一
同九年	二、四二、二〇五	二、二	二〇・一	四〇・六	三六・三	二三・一
同十年	二、四二、二一五	二、二	二〇・一	四〇・六	三六・三	二三・一
同十一年	二、四二、二二五	二、二	二〇・一	四〇・六	三六・三	二三・一
同十二年	二、四二、二三五	二、二	二〇・一	四〇・六	三六・三	二三・一
同十三年	二、四二、二四五	二、二	二〇・一	四〇・六	三六・三	二三・一
同十四年	二、四二、二五五	二、二	二〇・一	四〇・六	三六・三	二三・一

右の如く農業上最も理想的組織に  
して國家の中堅たるべき自作農及  
農は逐年増加しつつありて農村の

### 我總督府

の表勸奨

保る小作慣行改善案は以上述べ  
たる趣旨並に其他の實情に鑑み  
最も適切な條項にして用意周到  
なる施措なりと謂ふべく眞に朝鮮  
農業界の一大福音なり幸ひに地主  
各位の理解と奮發とに依り之れが  
遺憾なく善用實行せられんか朝鮮  
の農業は忽ち面目を一新し多數小  
作農の生活を安んじ上せしむる  
共に土地の改良生産増進に依り  
地主の享くる利益亦甚からざるべ  
く従つて朝鮮の經濟的発展に資す  
る所當に大なるものあるべし願は  
く地主各位は這間、事理を克く  
究せられ我農業をして健全的發展  
と順調的進歩を遂げ自他の福利  
を増し以て國家社會の隆きに貢獻  
せられんことを切望して已まず

自作農裁定案

地方農村問題と  
朝鮮の現状

三

[illegible]

込める譯に、勝田にも行かず、根が母中、爲根の意を受けて自作豊藏定基、爲根案を作成中であるが、豊林省の破出參與官、桑田源信、次男、富田理財局長等の意見が體取として大體の腹案を得た機縁で、近く久原、望月兩根と意見協議の上、田中首根に報告するとしたた機縁である。

二

右腹案の内容、客として傳へられ、所によると

一、資金の融通方法について、資金としての恒久性を確保せんがために、これを

簡易保險や預金部の資金の融通だけでは不安全であるから特別會計の下に農地局を設定して公債の發行をなし得ることにすること  
一、預金部の融通利子は郵便預金の利子の四分八厘と、簡易保險の利子三分五厘の開き一分三厘を國庫の補給によること  
一、計畫の輪廓明年限及び特別を農林省案に比して適當に縮小すること  
當局にそれ／＼讓歩を求めるものと見られてゐる。

三

かうして自作農の創設問題が曲なりにも解決を見んとする

ことは、地方農村の現状を正確に知り、識者の望みしく、農實する所て勞働問題は、地方農村において深刻化してゐる傾向のあるとき、大地主と小作農の中間にある自僱農が渡り行きの山村廢村の數が年々減少するときは、農村開闢の策として、最も力強い政策の實現として、誠意進ずる、朝鮮における農村問題、小作人の二大陸域に區分され、豊富な鐵礦がハンキリと社會利便の上に反映してゐることゝを指摘したい。

朝鮮版

# 農村社會運動に對し

## 彈壓よりも善導へ

社會運動團體の七十余氏と  
道廳で安達咸北知事の懇談

【京城】安達咸北道知事は從來の  
教を破つて去る四月中旬道内の思  
想、社會運動團體七十余名を道廳  
に招致して向後の思想、社會運動  
の對策につき懇談したが、その收  
穫につき同知事は總督府で語る  
これまで思想、社會運動は  
單に取締上の見地から警察當局  
から睨まれてゐたが、私はか  
ゝる運動が不穩の實行行為に入  
れば勿論十分取締るべきだが、  
單に思想としての範圍では取締  
は不可と思ふ、咸北は他道よ  
り自作農が多くて九割に當り、  
一人當り三町三反歩を所有し、  
年收三百四、五十円を得て副業  
として養蠶も相當旺んだが思想  
運動家の中には養蠶を旺んに行  
つても、その利益の大部分は内  
地人に占められると誤斷して桑  
苗を拔取つたものがある、ま  
た最低賃銀制の確立、八時間勞  
働、資本主義の打破等を唱へる  
ものもあり、懇談の結果世界で  
もかゝるとが實施されてゐる國  
は非常に寥々たるものであると  
を説き、道當局と協力して生産  
を増加し、鮮農の收入を増加す  
ることが先決問題だ

を採るとは得ぬ旨を懇々述べた  
ところ、わざわざ私の部屋にき  
て共鳴したと述べたものがあり  
手紙で賛成の旨を回答してきた  
ものもあつた、出席者七十余名  
のうち約半数は道の方針と合致  
する者を生じたとは意外の收穫  
であつた、咸北道としてはこれ  
からは思想、社會運動團體に彈  
壓許可を加へず、産業獎勵を計  
り、もし秩序を紊す團體があつ  
たらそのときは斷然取締を加へ  
て行く方針である



# 小作爭議は睨み合ひ

道郡當局の仲裁で

和解の可能性がある

## 田村馬山警察署長談

進永迫間農場の

### 小作爭議

は其の後大

した變化もない様であるが去二十四日迫間農場の集會所に於て小作人大會が催さるると云ふので自分も其親子を見物に出かけ種々注意を與へてゐるのであるが當日参加した小作人は總計二百名であつた、元來迫間農場の小作人と稱しても悉くが純然たる小作人のみでなく、中には二十町歩からの土地所有者もあり、より以下の土地所有者もある様であるから純然たる小作爭議とのみ見ることには出来ないが、問題の内容は地方側と二割六分方の小作料値上げを主張するに對し、曩に仲裁に入つた人々は八分方の値上げではどうであらうかと

人側に於ては飽くまでも叩き分けを主張するに對して農場側では調定租にするに云ふ主張があつたが此の際郡や道の方、相當の調定案を提げて起たれたら全然解決の望みがないものは思はれぬ、一方小作人側では

内地の大日本農民組合に氣脈を通じて事件を社會問題化せんとする氣運も見えなければ、是れに對しては自分からも其の氣運行動を諷むべき事を懇々と戒告して置いたので、内地の小作爭議の如き直接行動に出づるが如きは當分絶対にあるまいと考へらるゝ、依つて自分は警察の立場としては純然たる調停問題と見て自然の成り行きを監視するより外に道はあるまいと考へて居る、現在の處では小作人側は叩き分けを主張し農場側では調定を主張して双方確執つて動かぬのであるが

### 叩き分け

とするに於

ては秋の收穫期に於て地方側は多數の資金人を召さねばならぬからそれだけの人手が足りない事を理由として小作人側では調定とすれば勢ひ坪刈り等より打算するのであるから、勢ひ地主の方に利益が多く小作人が不利益であるから往けないと云ふ杞憂もあるらしい、兎も角警察としては双方に輕率行動せぬ戒告を與へるに止め決して干渉はせぬ方針である云々

### 双方の間

を調停せん

と試みたらしいが、地主も小作人も自説を固執して下らぬので謂はば現在の所では双方睨み合ひの状態であるらしい、第三者の側から見ると今年は平年作又はより以上であるので地主側にてはこの機を外つさず地力を見ると云ふ意味で小作料の値上げを斷行せんとするものらしく、小作人の方は稍々豊作に近い今年を標準として値上げをされては困ると云ふ吐もあるらしい、兎も角第三者から見て二割六分の値上げは無理であらうと思はれぬ、其の日の集會は小作

遂に實現した

# 小作官任命

警務局長から

警官との協力を示達

南鮮各道の小作爭議は逐年激増し長へ小作官と監察官吏の協力に關して示達した内地の實例もある通り小作官には權力がないので此點は所轄警察署長と和中協力して小作爭議に善處し爭議解決に一新面目を期せしめる意旨込であると

4.12.



# 各面長の意見を

## 詳細に聴取し

それに基調を置いて

### 小作調停法をつくる

【京城】朝鮮の小作に關する労働爭議は、終明期にあり、爭議調停小作慣行に關する一切の制定をなすに最も好時期にあるので、總督府では朝鮮の特殊事情に本づき内地小作調停法等と異なる法律を作ることに内定し、これが準備として殖産局ではかねて鮮内各地の小作慣行や労働爭議の實際事情を調査中のところ大體まとつたので、近く諮問事項原案を作成しこれを第一線にある全鮮の各面長に配布し意見を聴取し各郡はこれを集め更に道廳においてこれを整理し道としての意見を附して本府に報告せしめることになつてゐる、この期間は約六ヶ月の豫定で農務課では集つてくる回答を尊重しこれに基調を置き内地で發布される法令や別に調査機關として設置されてゐる小作慣行調査委員會の意見を參照し朝鮮の實際に即した立法に着手するはずであるが、遅くとも明後年中には實現せしめたいといつてゐる。

## 慶北の小作争議

## 四月の中タツタ四件

小作官も手持ち無沙汰

民

慶北では五月六日から道内一齊に小作慣行調査を行ふこととなり、目下各郡共、調査の衝に當るべき面書記を召集して調査事項の講習會を開催中である、本道内における小作争議は案外少く小作官の手を煩はしたものが四月中たつた四件しかなく全部小作權の移動に關する争議のみであるが右に對し長曾我部小作官はかたる

## 争議

と云つて取立て、云ふ程のものもない、要するに

朝鮮の小作人は地主が如何に過酷な小作料を取立て、小作權移動と云ふ最後の手段に訴へない限りは如何に不利な契約であつても従順に服してゐるから争議らしい争議は起らぬ、小作地の持高に依つて小作人の信用程度が左右される現状で運動費まで使つて小作地を得ようとするものが多いから

## 横暴

な地主があつても小作人は泣き入るほかに取るべき途がない、まあ小作官に調停

を願ひ出るほどのものは比較的頭の進んだもので大部分は持久戦を續けるだけの資力と能力がないため争議途中で自然解決になるか然らざれば郡守署長の手で解決するから僕が乗出すやうなことはめつたにない

# 舊小作人の

## 業務妨害は

8

発見次第厳罰する

5.6.

相

馬山警察署司法係談

例年農繁期に入るところから舊小作人の新小作人に對する業務妨害即ち小作米の不納その他の理由で小作權を喪失した舊小作人が新小作人の耕作に邪魔立てする例は各所に見受くるが由來島原郡三顧方面に於てはその例が著しく三顧耕作組合を背景として此の種の争鬭が頻發する傾向があり現に今年になつても三四件訴へ出てゐる者がある本署としてこの點に關しては總て駐在所員を奮勵し面會局とも聯絡を執りその防遏に意を用ゐてゐるが今般萬一かゝる妨害を爲す者ある場合は容赦なく最罰に處する方針であると馬山警察署司法係員は語つてゐた

234

我等은多年間法治國民으로서  
의訓練을經하야 將次自治制의  
實現을見히려하는今日이다 此  
際에處하야未開時代의遺物에屬  
한民衆의勃發을見하게된다하  
는 何等痛惜할事件이며 驚愕할

三

다만 茲에 吾人의 疑訝한 點은  
如斯한 變事를 惹起함에 對하야  
森林取締에 當하는 當路者로서  
果然 適宜한 態度에 出한 바 아니었  
스며 任 그의 鎭定에 當한 察當  
局으로서도 荒蕪의 手段을 講하  
야는 가하는 點이다 千丈의 堤  
도 蟻鑿의 穴에 因하야 決潰된 다  
한 다 森林主事가 微微한 末職일  
는 지는 知지 못하겠다 그리나  
直接民衆에 接觸하는 者는 此者이  
다 施設에 對한 民衆의 反映은  
다 만 此에 依하야 左右되는 바이며  
여라서 그 一動一靜에 依하야 驚  
來하게 되는 結果는 實로 甚大한  
바이다 果然 그에 無理가 無하  
고 失態가 存치 아니하야 다 하나  
나 그리하야 民衆이 十八日에 動搖

*[Faint background watermark or bleed-through from another page]*

